



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 数臣 (TEL) 093-521-7030
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	177,289	△2.0	8,500	△6.1	8,828	△5.2	4,932	5.3
29年3月期第3四半期	180,900	0.8	9,054	5.2	9,312	3.8	4,685	△8.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期第3四半期	165.62		—					
29年3月期第3四半期	157.30		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	226,370	138,078	61.0	4,635.99
29年3月期	224,327	134,202	59.8	4,505.85

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 138,078百万円 29年3月期 134,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
30年3月期	—	19.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	231,200	0.1	9,700	11.1	9,900	8.0	5,600	28.5	188.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	29,784,400株	29年3月期	29,784,400株
30年3月期3Q	294株	29年3月期	294株
30年3月期3Q	29,784,106株	29年3月期3Q	29,784,106株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 商品部門別販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用環境に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら米国の政策運営や近隣国との政治的緊張関係等の影響による世界経済の不確実性の懸念など、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

家具・ホームセンター業界におきましても、異業種を含めた企業間競争の激化がさらに継続しており、非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社は、「お客様満足度100%」の経営理念のもと、お客様志向の徹底とお客様のニーズに合った商品政策の強化をさらに継続してまいりました。

また、経営基盤の充実のため店舗展開にも取り組み、5店舗の新規出店及び4店舗の増床と2店舗の改装をいたしました。同時に既存店の見直しも行い7店舗を閉鎖いたしました。これにより当第3四半期会計期間末の店舗数は、33府県にわたり369店舗（内1店舗は休業中）となりました。

売上高1,772億89百万円（前年同期比2.0%減）、売上総利益580億45百万円（前年同期比2.5%減）、売上総利益率32.7%（前年同期比0.2ポイント減）となりました。

また、販売費及び一般管理費495億44百万円（前年同期比1.8%減）、対売上高比率は27.9%（前年同期比0.0ポイント増）となりました。

この結果、営業利益85億0百万円（前年同期比6.1%減）、経常利益88億28百万円（前年同期比5.2%減）、四半期純利益49億32百万円（前年同期比5.3%増）となりました。営業利益、経常利益の段階では減収減益となりましたが、四半期純利益は、前年同期に「平成28年熊本地震」による震災関連費用10億5百万円、また平成28年9月に発生した台風16号の被害による災害関連費用34百万円を特別損失として計上していたことにより増益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、最も売上構成比の高い当社の主力商品であります。比較的天候不順に影響を受けやすい商品であります。当第3四半期累計期間は、売上高は722億84百万円（前年同期比2.1%減）、売上総利益252億92百万円（前年同期比1.6%減）、売上総利益率は35.0%となっております。

「生活用品」も、天候不順や競合他社との企業間競争が大きく影響している商品であります。当第3四半期累計期間は、売上高は517億81百万円（前年同期比1.8%減）、売上総利益135億72百万円（前年同期比2.8%減）、売上総利益率は26.2%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、当社の差別化された商品であります。他の商品と同様に天候不順や競合他社との企業間競争の影響を受けております。当第3四半期累計期間は、売上高は377億51百万円（前年同期比3.2%減）、売上総利益147億69百万円（前年同期比4.2%減）、売上総利益率は39.1%となっております。

「その他」は、カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他が含まれておりますが、異業種を含め、企業間競争の影響を大きく受けております。当第3四半期累計期間は、売上高は154億72百万円（前年同期比1.1%増）、売上総利益44億11百万円（前年同期比0.8%減）、売上総利益率は28.5%となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は、2,263億70百万円となり、前事業年度末と比較して20億42百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、920億22百万円（前事業年度末比42億74百万円増）となりました。増加の主な要因は、商品の減少（前事業年度末比21億13百万円減）などがあったものの、現金及び預金の増加（前事業年度末比60億62百万円増）などによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,343億48百万円（前事業年度末比22億31百万円減）となりました。減少の主な要因は、有形固定資産の減少（前事業年度末比20億71百万円減）などによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、732億21百万円（前事業年度末比3億96百万円減）となりました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（前事業年度末比36億64百万円増）などがあったものの、1年内返済予定の長期借入金の減少（前事業年度末比5億12百万円減）、設備関係支払手形の減少（前事業年度末比22億2百万円減）、賞与引当金の減少（前事業年度末比5億58百万円減）などによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、150億69百万円（前事業年度末比14億36百万円減）となりました。減少の主な要因は、長期借入金の減少（前事業年度末比16億75百万円減）などによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、1,380億78百万円（前事業年度末比38億75百万円増）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階では平成29年11月10日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,554	30,617
売掛金	2,697	2,787
商品	57,179	55,065
その他	3,319	3,555
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	87,748	92,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	71,787	70,942
土地	46,453	46,368
建設仮勘定	1,092	128
その他（純額）	4,590	4,412
有形固定資産合計	123,924	121,853
無形固定資産	2,988	2,919
投資その他の資産	9,666	9,574
固定資産合計	136,579	134,348
資産合計	224,327	226,370
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,074	34,739
短期借入金	22,630	22,630
1年内返済予定の長期借入金	3,002	2,489
未払法人税等	1,439	1,761
未払金	4,358	4,277
設備関係支払手形	4,311	2,109
賞与引当金	1,080	522
役員賞与引当金	34	-
ポイント引当金	1,250	1,236
資産除去債務	-	25
その他	4,437	3,431
流動負債合計	73,618	73,221
固定負債		
長期借入金	4,572	2,896
退職給付引当金	2,950	3,122
役員退職慰労引当金	1,541	1,541
資産除去債務	5,062	5,240
その他	2,379	2,267
固定負債合計	16,506	15,069
負債合計	90,124	88,291

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	126,338	130,139
自己株式	△0	△0
株主資本合計	134,099	137,900
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	103	178
評価・換算差額等合計	103	178
純資産合計	134,202	138,078
負債純資産合計	224,327	226,370

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	180,900	177,289
売上原価	121,368	119,243
売上総利益	59,532	58,045
販売費及び一般管理費	50,477	49,544
営業利益	9,054	8,500
営業外収益		
受取利息	21	21
受取配当金	8	8
受取手数料	121	113
受取家賃	164	191
その他	183	241
営業外収益合計	498	577
営業外費用		
支払利息	129	119
不動産賃貸原価	66	98
その他	45	31
営業外費用合計	240	249
経常利益	9,312	8,828
特別利益		
固定資産売却益	1	1
受取保険金	63	16
特別利益合計	64	17
特別損失		
固定資産除却損	14	108
減損損失	775	669
災害による損失	1,039	-
その他	26	21
特別損失合計	1,856	798
税引前四半期純利益	7,520	8,047
法人税等	2,835	3,114
四半期純利益	4,685	4,932

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	73,856	52,722	39,019	165,599	15,301	180,900	180,900
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	73,856	52,722	39,019	165,599	15,301	180,900	180,900
セグメント利益	25,697	13,968	15,418	55,084	4,448	59,532	59,532

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	72,284	51,781	37,751	161,817	15,472	177,289	177,289
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	72,284	51,781	37,751	161,817	15,472	177,289	177,289
セグメント利益	25,292	13,572	14,769	53,634	4,411	58,045	58,045

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日) (至 平成28年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成29年4月1日) (至 平成29年12月31日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	73,856	40.8	72,284	40.8	97.9
生活用品	52,722	29.1	51,781	29.2	98.2
家具・ホームファッション用品	39,019	21.6	37,751	21.3	96.8
その他	15,301	8.5	15,472	8.7	101.1
計	180,900	100.0	177,289	100.0	98.0

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他